

## 2 環境教育に関する東京都の施策

東京都では、関係各局が環境教育に関する様々な施策を展開しています。  
ここでは、環境学習に関する東京都環境局の施策について紹介します。

東京都環境局では、2050年までに世界のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」の実現を目指し、省エネルギーの更なる推進や再生可能エネルギーの利用拡大、使い捨てプラスチック削減、食品ロス削減、ゼロエミッションビークルの普及促進、気候変動への適応策の強化など、脱炭素化に向けた施策に幅広く取り組んでいます。

また、自然豊かで多様な生物と共生できる都市環境継承のため、緑の量・質の確保、生物多様性の保全に向けた様々な取組も行っています。

こうした様々な環境施策の横断的・総合的な取組の一環として、次世代を担う子供たちへの環境教育の充実・強化を行うべく、環境学習講座の開催や、環境学習ポータルサイトの管理・運営を行っています。

### (1) 環境学習講座の開催



平成 20 (2008) 年度から、私立も含む都内小学校の教員を対象とした環境教育に関する研修会を、NPO法人等と協働で実施しています。環境学習プログラムを習得し、教科等横断的に総合的な環境学習を実践できるリーダーを育成することにより、学校における環境教育の充実を図ることを目的としています。

本研修会では、環境の知識を身に付けるだけでなく、他者とのつながりや思いやりを知るとともに、体験的な学習により、考える、調べる、行動する力を身に付けることができるプログラムを提供しています。

どの回も、ゲストティーチャーによるフィールド実習と、教科学習に沿った環境学習プログラムを組み合わせた内容となっており、子供たちが体験しながら楽しく学ぶための手法を知ることができるようになっています。

また、教員向けとは別に、都民を対象としたテーマ別環境学習講座も平成 22 (2010) 年度から実施しています。こちらは、都民が環境への理解を深め、環境に配慮した自発的な行動をとれるようになることを目的としています。

大人だけでなく子供も参加して楽しく学習できるような講座も企画しており、例えば、自然をテーマとした回に、ビオガーデンにおいて専門家の話を聞きながら自然観察を行うなど、体験して学ぶことによる“気づき”を大切にしています。



## 【実施した環境教育研修会の例（令和元年度）】

研修会名	テーマ	関連教科の例
里山で体験！昔の暮らし	生活	社会「区（市・町・村）の様子の変り変わり」
フードロスを体感 ～もったいない鬼ごっこ～	食・ごみ	社会「我が国の農業や水産業における食料生産」 家庭「食事の役割」 「栄養を考えた食事」
多摩川いきもの調査隊	水	社会「人々の健康や生活環境を支える事業」 「我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり」 理科「生物と環境」 家庭「衣服の着用と手入れ」
川はごみの通り道 ～荒川からごみ問題が見えてくる～	ごみ	社会「人々の健康や生活環境を支える事業」
未来のエネルギーを体験しよう	水素・ 省エネルギー	理科「天気の変化」 社会「人々の健康や生活環境を支える事業」 「我が国の国土の自然環境と国民生活の関わり」 「我が国の工業生産」
高尾山で豊かな自然を体感	自然	理科「身の回りの生物」 「季節と生物」

### 水素情報館「東京スイソミル」

東京都環境局の政策連携団体である公益財団法人東京都環境公社が平成 28（2016）年度に開設した、日本初の水素エネルギーに特化した普及啓発施設で、環境学習講座の会場にも使用しています。

子供をはじめとする全ての人たちが、見て触って体験しながら学べる展示を用いて、水素エネルギーの社会的意義、将来像、安全性等について正しく学び、知識を習得できる施設となっています。



### （2）「TOKYO環境学習ひろば」の運営・管理

「TOKYO環境学習ひろば」は、都民が環境に親しみながら学ぶことができるように情報を掲載しているサイトで、東京都環境局が運営・管理しています。

都内で行われるイベントや講座の情報発信を行うほか、都内で環境について学ぶことができる環境学習拠点も紹介しています。

また、次世代を担う子供たちに環境問題をより身近に感じてもらうための、環境に関するクイズや学習ページもあります。

TOKYO 環境学習ひろば



検索